

問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

投票所に出かけるとき、私はいつもゆううつな気分になります。

こんなことがしばしばあるのです。

あるとき、車イスの私が投票所に入ると、係員の方がいきなり近づいてくるのです。なんだろうと思っていると、その人は、私のもっている投票用紙と引きかえるためのハガキをとって、私にかわって投票用紙にかえようとするのです。以前には、ことわるのも①角が立つかなと思いい、甘んじて受けたこともあるのですが、②最近は「自分でできることから」とことわることにしているのです。

投票用紙を受けとった私は、記入台に移動します。こんどは、別の係の方がついてくるのです。そして、私が記入を終えるまでかたわらに立ち、さらに私が投票を終え、投票所を出るまでついてまわるのです。

また、こんなこともありました。私が投票をすませ、出口の方向に進もうとしたところ、係員の方が近づき、手招きをして、私を入口のほうに逆進するように誘導するのです。私だけがどうしてかなと思ったのですが、すぐにそのわけがわかりました。出口に階段が数段あり、車イスでは出られなかったからなのです。

投票所が仮設であることはわかります。しかし、たとえ仮設でも、車イスへの配慮は行き届いたものであるべきです。③投票所での車イスへの配慮の不備を、係員がいついてまわるることによって補おうとすることは許されません。

投票所の係員の方が、車イスの私に気をつかってくださるのには、よくわかります。しかし、投票所での過剰な対応は、自由に一票を投じたい私にとって、ときとして、ひじょうにわずらわしいものとなるのです。投票所で一般の人びとに認められている A は、車イスの私にも④ホシヨウされるのが当然だと思えます。

まだ、あります。

ある投票所では、立ったままで投票用紙に記入する台から、すこし離れた位置に低い机がおかれており、それが車イスのための記入台になっておりました。目隠しはまったくありません。おまけに、すぐそばに係員が立ちつくしていたのです。

最近の投票所では、立ったままで投票用紙に記入する台が数台並び、いちばん端に、座った位置で記入できる低い台があり、その台を使って、私は投票用紙に記入します。しかし、この低い記入台は、となりの高い記入台の位置からなげなく見おろせる位置にあり、車イスの私としては不満です。

このようなわけで、私は、投票所に出かけるたびに、こんどは、 X Y と考えてゆううつになるのです。⑤投票を終えて私の気分が晴れたことは、まだ一度もありません。

投票所における車イスへの対応は、まだまだその場しのぎで、車イスの立場に立ったきちんとした対応にはなっていない、というのが私の実感です。

〔車イスから見た街〕 村田 稔

【一般型】

問一 線①「角が立つ」とありますが、ここではどういう意味ですか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 車イスの私の話し方がぎこちなくなる。 イ 車イスの私の動き方がぎこちなくなる。

ウ 係員の方との人間関係がぎこちなくなる。 エ 係員の方の車イスの操作がぎこちなくなる。

問二 線②「最近は『自分でできることですから』とことわることにしている」とありますが、それはなぜですか。そのことを説明した次の文の空らんにあてはまることばを、本文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

● 一般の人びとと同じように（ ）から。

問三 線③「投票所での車イスへの配慮の不備を、係員がいついてまわるることによって補おうとすることは許されません」とありますが、ここでは具体的にどのようなことが「不備」のですか。本文中のことばを用いて答えなさい。

問四 線④「ホシヨウ」を漢字に直しなさい。

問五 A にあてはまることばとして最も適切なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア 学問の自由 イ 行動の自由 ウ 会話の自由 エ 選択の自由

問六 X Y にあてはまる表現の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア XⅡ係員の方が補助してくれないかな YⅡ投票所はどうだろうか

イ XⅡ係員の方が迷惑していないかな YⅡ投票用紙はどうだろうか

ウ XⅡ係員の方が近寄ってこないかな YⅡ記入台はどうだろうか

エ XⅡ係員の方はいついてきてくれるかな YⅡ仮設の投票所だろうか

問七 線⑤「投票を終えて私の気分が晴れたことは、まだ一度もありません」とありますが、筆者の「気分が晴れ」ないのはなぜですか。筆者が実感していることを述べた部分をぬき出し、はじめとおわりの五字ずつを答えなさい。

【思考表現型】

問八 本文を読んで、投票所での車イスの方へ対応は具体的にどうあるべきだと考えますか。あなたの考えを二百字以内で述べなさい。

